

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第33号(2024 年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第30回シンポジウム報告 「歴史の中の女性を読み直す —女性史研究のいま—」 I 日仏の女性史研究のいま	渡邊 和行(元本学文学部歴史学科特任教授／ 奈良女子大学名誉教授)
2	II 日本中世女性史研究の軌跡 —脇田晴子・田端泰子氏を中心に—	細川 涼一(本学名誉教授／元学長)
3	III 女性史総合研究会発足の頃 橘女子大 そして今	西野 悠紀子(女性史研究者／女性史総合研究会委員)
4	IV 討論	渡邊／細川／西野／野田(本学文学部歴史学科教授／ 女性歴史文化研究所所長)
5	〈論文〉稲垣足穂と伏見桃山 —『宇治桃山はわたしの里』によせて—	細川 涼一(本学名誉教授／元学長)
6	〈論文〉森鷗外『雁』論 —『金瓶梅』との比較を視座として—	丁 若思(本学文学研究科歴史文化専攻博士後期課程)
7	〈研究ノート〉文部(文部科学)省女性局長のキャリアソリー・キャリアパス分析 —文部(文部科学)省同期入省者(男性)との比較分析を通して	近藤 貴明(新潟大学教育研究院 自然科学系理学部特任教員)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第32号(2023 年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集「京都の女性史II」 〈論文〉京の扇文化と女性	南 健太郎(文学部歴史遺産学科准教授)
2	〈論文〉出家・卒去した受領の官物弁済をめぐる —受領の妻は官物の完済に責任を有するか—	増淵 徹(文学部歴史学科教授／ 第13プロジェクト・リーダー)
3	〈論文〉『栄花物語』の皇后城子 —「母」像を読む—	野村 倫子(文学部日本語日本文学科教授)
4	〈論文〉丹後局高階栄子と山科小野莊	細川 涼一(名誉教授)
5	〈論文〉鎌倉初期の京都守護をつとめた御家人中原親能とその家族	田端 泰子(名誉教授)
6	〈論文〉播磨守護赤松則祐・義則周辺の女性たち —京極御母・七条大方殿・なな局・西向殿—	野田 泰三(女性歴史文化研究所所長／ 文学部歴史学科教授)
7	〈論文〉山科言国の妻 —室町戦国期を生きたある公家の女性の生涯—	米澤 洋子(女性歴史文化研究所客員研究員)
8	〈論文〉戦国時代の鞠足「中納言」について —十六世紀の女性と蹴鞠—	尾下 成敏(文学部歴史学科教授)
9	〈論文〉明治時代の京都府立第一高等女学校における教育の一断面 —『鴨沂会雑誌』をもとに—	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科教授)
10	〈論文〉ジャンヌ・ブーヴィエ —とあるフランス人女性労働者の半生—	渡邊 和行(文学部歴史学科教授)
11	〈論文〉20世紀イランを生きたシーア派女性ウラマー ノスラト・アミン	杉山 隆一(文学部歴史学科准教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第31号(2022 年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第29回シンポジウム報告 「考古遺物からみる先史の女性・子ども・家族」 I 縄文時代の家族と母性—北海道の縄文遺跡を事例として—	阿部 千春(北海道庁縄文世界遺産推進室特別研究員／ 元函館市縄文文化交流センター館長)
2	II 古墳時代の家族・ジェンダー—近畿地域の事例を中心として—	中久保 辰夫(本学文学部歴史遺産学科准教授)
3	III 討論	阿部／中久保／増淵(本学文学部歴史学科教授)
4	〈論文〉森鷗外『魚玄機』論	丁 若思(本学文学研究科歴史文化専攻博士後期課程)
5	〈研究ノート〉「特別の教科 道徳」の教科書の内容分析—ジェンダーの視点から—	藤岡 秀樹(本学発達教育学部児童教育学科教授)
6	〈研究ノート〉労働(厚生労働)省女性局長のキャリアパス分析 —一九五〇—一九八五年の労働省入省者を対象に—	近藤 貴明(元新潟県事務職員(行政職))
7	〈史料紹介〉本学所蔵山科言継位記・同言経位記について	野田 泰三(本学文学部歴史学科教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第30号(2021 年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
		田端 泰子(本学名誉教授)
		鎌田 明子(本学名誉教授)

1	女性歴史文化研究所 座談会 第2回 「女性歴史文化研究所開設30年に向けて」	志賀 亮一(本学名誉教授) 増淵 徹(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長) 北川 千差子(本学学術振興課職員)
2	〈論文〉村上春樹と蹴上・山科 —『猫を養う 父親について語るとき』によせて—	細川 涼一(本学名誉教授)
3	〈論文〉一遍上人と尼僧集団 —『一遍聖絵』に描き分けられた尼の顔—	米澤 洋子(本学非常勤講師)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第29号(2020年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 座談会「女性歴史文化研究所開設30年に向けて」	田端 泰子(本学名誉教授) 細川 涼一(本学名誉教授) 松浦 京子(本学文学部歴史学科教授) 増淵 徹(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長) 北川 千差子(本学学術振興課職員)
2	〈論文〉記録に見る山科の街道と旅 —伏見街道・三条街道(東海道)・毘沙門堂—	細川 涼一(本学名誉教授)
3	〈研究ノート〉Inclusive and Equitable Quality Education: An Exploration of a Shared Preference for Active Learning	マルヴィ・アラン(本学国際英語学部国際英語学科助教)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第28号(2019年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第28回シンポジウム報告 「近代ヨーロッパにおける女性の社会進出—イギリスとフランスの事例から—」 I 近代ヨーロッパにおける女性の社会進出—フランスの事例、教職を中心に—	松田 祐子(大学非常勤講師)
2	II アマチュア・ヴォランティアからプロフェッションへ —前世紀転換期イギリスの女性福祉活動から社会進出を考える—	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	松田/松浦/渡邊
4	〈論文〉北条政子の熊野詣とその意義	田端 泰子(本学名誉教授)
5	〈研究ノート〉西洞院時子の禁裏出仕—豊臣政権期のある女官とその父の動向—	尾下 成敏(本学文学部歴史学科准教授)
6	〈資料紹介〉東流二絃琴に関する資料目録(昭和前期篇)	重松 恵美(本学文学部日本語日本文学科助教)
7	〈史料紹介〉エリザベス・カーター書簡集(翻訳と解題)	大久保 友博(本学国際英語学部国際英語学科助教)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第27号(2018年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第27回シンポジウム報告「発信する皇女たち—斎王を中心に—」 I 発信する皇女たち—斎王を中心に—	榎村 寛之(斎宮歴史博物館副参事兼学芸普及課長)
2	II 宣陽門院親子内親王の夢	野田 泰三(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	榎村/野田/増淵
4	〈論文〉中近世移行期における村落の動向—山科東庄三郎兵衛の「家」の存続を事例として—	米澤 洋子(本学非常勤講師)
5	〈資料紹介〉東流二絃琴に関する資料目録(大正篇)	重松 恵美(本学文学部日本語日本文学科助教)
6	〈史料紹介〉ジェイン・バーカー「乙女の生活」ほか(翻訳と解題)	大久保 友博(本学国際英語学部国際英語学科助教)
7	〈論文〉吉田隆子の昭和初期における創作活動—モダニズムからプロレタリア音楽へ—	佐野 仁美(本学発達教育学部児童教育学科准教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第26号(2017年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 開設25周年記念シンポジウム報告 「食の歴史とジェンダー—日本とアジア—」 I 共食という文化	原田 信男(国士舘大学21世紀アジア学部教授)
2	II 『共食という文化』へのコメント	阿良田 麻里子(立命館大学客員教授)
3	III 『食とジェンダー』の視点から	南 直人(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長)

4	IV 討論	原田／阿良田／南
5	〈論文〉戦国期播磨における大名家妻室について —赤松政則後室洞松院を中心に—	野田 泰三(本学文学部歴史学科教授)
6	〈論文〉安政元年の下田休息所問題と阿部正弘政権	後藤 敦史(本学文学部歴史学科准教授)
7	〈資料紹介〉東流二絃琴に関する資料目録(明治篇)	重松 恵美(本学文学部日本語日本文学科助教)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第25号(2016年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第25回シンポジウム報告 「近代ヨーロッパ社会における身体表現と身体ケア —食とファッションを中心に—」 I 消費社会の発展と近代的身体の発見	北山 晴一(立教大学名誉教授)
2	II 19/20世紀転換期ドイツにおける食改革運動と身体イメージ	南 直人(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	北山／南／松浦
4	〈論文〉母たちの昭和史 —高久タケ・柏原シゲ—	高久 嶺之介(本学文学部歴史学科教授)
5	脇田先生追悼文(1) 大学人・教育者としての脇田晴子先生	田端 泰子(本学名誉教授)
6	脇田先生追悼文(2) 脇田晴子先生を偲んで	鎌田 明子(本学名誉教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第24号(2015年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第24回シンポジウム報告「近代と働く女性たち」 I 明治・大正期のメディアと働く女性	佐伯 順子(同志社大学大学院社会学研究科教授)
2	II ヴィクトリア・エドワード朝 イギリスの女性労働	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)
3	III 討論	佐伯／松浦／南
4	〈論文〉将軍家と日野家・山科家 —日野康子と日野栄子の役割を中心に—	田端 泰子(本学名誉教授)
5	〈資料紹介〉全国高等女学校長協会(編)『全日本郷土料理』(1940年) —戦時の食や郷土食に関する文献研究のために—	南 直人(本学文学部歴史学科教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第23号(2014年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第23回シンポジウム報告「近代社会の病気と女性」 I 福祉国家以前のイギリスにおいて貧民はいかに看護されたか	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)
2	II 明治の村は病気にどう対応したのか —京都近郊農村を対象に—	高久 嶺之介(本学文学部歴史学科教授)
3	〈論文〉大坂落城に遭遇した二人の女房於菊とおきく	田端 泰子(本学名誉教授)
4	〈論文〉19世紀後半のイギリスにおける巡回訪問看護 —リパプール・スキームとランヤード・ミッションの活動を中心に—	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第22号(2013年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第22回シンポジウム報告「江戸時代の病気と女性」 I 江戸時代の結核と女性	鈴木 則子(奈良女子大学大学院生活環境科学系教授)
2	II 幕末京都の医家と医療	有坂 道子(本学文学部歴史遺産学科准教授)
3	〈論文〉『玄朔道三配剤録』と『医学天正記』から見た曲直瀬玄朔一門の患者とその時代 —とくに秀吉の番医制との関係を軸に—	田端 泰子(本学名誉教授)
4	〈論文〉毛利元就継室「中の丸」の出自	西尾 和美(本学女性歴史文化研究所研究員)
5	〈史料紹介〉三位法眼家傳秘方百二十種書	米澤 洋子(本学非常勤講師)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第21号(2012年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
-----	------	------

1	〈論文〉戦国期—織豊政権期におけるマスキュリニティーの発現形態とその観念・影響	田端 泰子(本学名誉教授)
2	〈論文〉豊臣期から江戸初期における毛利氏妻室に関する一考察 —清光院と家臣・近親女性との関係を中心に—	西尾 和美(本学女性歴史文化研究所研究員)
3	〈論文〉降嫁後の和宮 —朝幕関係上の役割を中心に—	野村 晋作(立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程)
4	〈論文〉母乳が政治性を帯びるとき —20世紀初頭ドイツにおける乳児の生と死をめぐる—	南 直人(本学文学部歴史学科教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第20号(2011年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 田端泰子氏と日本中世女性史 特集にあたって	
2	I 田端泰子氏と中世女性史研究の現在 —ジェンダー史研究の展開を視野に入れて—	西尾 和美(鳴門教育大学嘱託講師)
3	II 田端泰子氏と中世村落史研究	志賀 節子(関西大学非常勤講師)
4	III 田端泰子略年譜	田端 泰子(本学名誉教授)
5	IV 田端泰子著書・論文目録	
6	女性歴史文化研究所 第20回シンポジウム報告「日本中世における女性の生活と表象」 I 鉢かづきの民話から長谷寺の夢へ	保立 道久(東京大学史料編纂所教授)
7	II 中世女性の坐態からみた衣と住	田端 泰子(本学名誉教授)
8	第二特集 日本近世女性史 I 長崎丸山遊郭の「遊女屋宿泊人帳」覚書	横田 冬彦(本学文学部歴史学科教授)
9	II 近世の配偶者間暴力に関する一考察 —『弘前藩日記(御国)』の事例をもとにして—	真島 芳恵(本学非常勤講師)
10	III 近世商家の妻役割 —婚姻を中心に—	伊藤 麻佑子(本学大学院博士前期課程修了)
11	IV 幕末期江戸藩邸の奥向 —前橋藩松平家記録「朝夕申継帳」を素材に—	水沼 尚子(本学大学院博士前期課程修了)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第19号(2010年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第19回シンポジウム報告「幕末・明治の京都と女性」 I 幕末維新の朝・幕の女性 —和宮と九条夙子をめぐって—	辻 ミチ子(元・宇治市歴史資料館館長)
2	II 明治の京都を訪れた外国人皇族たち —イギリス・ロシア・オーストリアの皇族たち—	高久 嶺之介(本学文学部歴史学科教授)
3	〈論文〉白洲正子の能楽論 —日本文化へのまなざし	野村 幸一郎(本学文学部日本語日本文学教授)
4	〈研究ノート〉山本まさきは「千日前ドリーミング ヘビ食い少女」と 林静—「大道芸人」 —マンガと見世物—	細川 涼一(本学文学部歴史学科教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第18号(2009年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 日本中世の家と女性 I 明智光秀の親族・家臣団と本能寺の変	田端 泰子(本学学長／文学部歴史学科教授)
2	II 後鳥羽院政における春華門院昇子内親王の位置	三好 千春(本学大学院文学研究科博士後期課程満期退学)
3	III 名越氏と二月騒動	小野澤 朋佳(本学大学院文学研究科博士前期課程修了)
4	IV 山科家の栗贈答 —中世後期の贈与に関する一考察—	米澤 洋子(女性歴史文化研究所リサーチアシスタント)
5	V 戦国乱世を生きた家族 —大坂夏の陣を中心に—	大嶽 王子(本学大学院文学研究科博士前期課程修了)
6	女性歴史文化研究所 第18回シンポジウム報告「歴史のなかの子どもの行方」 I 江戸時代における子どもの行方	沢山 美果子(岡山大学社会文化科学研究科客員研究員)
7	II 平安京と捨て子に関する覚書	増淵 徹(本学文学部歴史学科教授)
8	〈論文〉ディルシャート・ハトンとファルマーン —14世紀イランにおける女性の発令書—	小野 浩(本学文学部歴史学科教授)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第17号(2008年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第17回シンポジウム 「語り物文芸と女性 ―日本中世～近世にかけて―」 I 中世語り物文芸と女性 ―女性の果たした役割について―	砂川 博(相愛大学人文学部教授)
2	II 高野聖と伝承 ―横笛の周辺―	阪口 弘之(神戸女子大学文学部教授/ 神戸女子大学古典芸能センター所長)
3	III 常盤 ―源義経の母―	細川 涼一(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長)
4	〈論文〉「松前稼」の理想と現実 ―弘前藩「藩日記」の事例をもとにして―	真島 芳恵(本学文学部大学院文学研究科博士後期課程)
5	〈論文〉幕末開港場における外国人向け遊郭 ―箱館山之上遊郭を中心に―	福田 美穂(京都府立大学大学院文学研究科博士前期課程修了)
6	〈研究ノート〉女房日記にみる和宮親子内親王降嫁の一側面 ―宰相典侍・庭田嗣子とその記録について―	北上 真生(日本学術振興会特別研究員)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第16号(2007年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 15周年記念シンポジウム(2007.7.22) 「男女共同参画社会をめざして ―その歩みと課題―」 I 女性差別撤廃条約と男女雇用機会均等法をめぐって	赤松 良子(元文部大臣、元労働省婦人少年局長、 (財)びわ湖ホール顧問)
2	II 京都府の女性政策について	長濱 英子(京都府府民労働部女性政策課長)
3	III はんなりとはいかないおんなの生き方働き方 ～NPO活動の現状と課題～	吉田 秀子(特定非営利活動法人 働きたいおんなたちの ネットワーク理事長)
4	IV 討論	赤松/長濱/吉田/松浦/上原/河原
5	特集 ホスピタリティーと女性文化(第9プロジェクト報告) 研究プロジェクト趣意	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授/ 女性歴史文化研究所所長)
6	I 19世紀イギリスにおけるディストリクト・ヴィジティング ―女性文化としてのホスピタリティ、覚え書き―	
7	II 19世紀後半イギリスにおける博覧会と「もてなし」 ―博覧会にみるホスピタリティとしての娯楽的要素―	川本 真浩(高知大学人文学部人間文化学科准教授)
8	III 食のホスピタリティ ―近代ヨーロッパの飲食提供業に関する研究の可能性―	南 直人(本学文学部歴史学科教授)
9	〈論文〉河越重頼の娘 ―源義経の室―	細川 涼一(本学文学部歴史学科教授)
10	〈論文〉日本中世の出産の光景と病の看護	田端 泰子(本学学長/文学部歴史学科教授)
11	〈書評〉上野千鶴子『おひとりさまの老後』・『当事者主権』 ―最近の上野千鶴子を読む―	碓井 敏正(本学文化政策学部文化政策学科教授)
12	〈書評〉ドロシー・コウ著、小野和子・小野啓子訳『纏足の靴 ―小さな足の文化史―』	蒲 豊彦(本学文学部日本語日本文学学科教授)
13	記録『女の怪異学』合評座談会(2007.12.24)	野村/鈴木/林/蒲/安達/鎌田/杉山/ 三好/松浦/米澤

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第15号(2006年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所 第15回シンポジウム(2006.12.9) 「織豊政権期の男女像とその規範化 ―山内一豊・千代を中心に―」 I 戦国から近世へ ―時代のうねりとそこに生きた人々―	小和田 哲男(静岡大学教育学部教授)
2	II 創られた女性像 ―戦国・近世・明治―	長野 ひろ子(中央大学経済学部教授)
3	III 戦国の女性の生き方 ―山内千代、おねを中心に―	田端 泰子(本学学長/文学部歴史学科教授)
4	IV 討論	小和田/長野/田端
5	〈論文〉豊臣政権の人質・人質政策と北政所	田端 泰子(本学学長/文学部歴史学科教授)
6	〈論文〉都市漂流民のナショナリズム ―林芙美子と日支事変	野村 幸一郎(本学文学部日本語日本文学科助教授)
7	〈論文〉近年の中国における離婚女性の諸問題に対する女性たちの動向	遠山 日出也(立命館大学非常勤講師)
8	〈書評〉鎌田明子『性と生殖の女性学』	河原 和枝(本学文化政策学部現代マネジメント学科教授)
9	〈書評〉沢山美果子『性と生殖の近世』	齊藤 友美(本学大学院文学研究科歴史学 ・文化財学専攻博士前期課程)

京都橘大学 女性歴史文化研究所紀要 第14号(2005年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	女性歴史文化研究所国際シンポジウム「ミシンと女性と経済」 I ミシンの宣伝と利用から読み取る女性像	アンドリュウ・ゴードン(ハーバード大学教授/本学名誉教授)
2	II ミシンは女性を解放したか? —インドネシア女性にとっての縫製労働の意味—	中谷 文美(岡山大学大学院文化科学研究科助教授)
3	III 19世紀イギリスの衣類縫製業と女性ミシン掛け工	松浦 京子(本学文学部歴史学科教授/女性歴史文化研究所所長)
4	IV コメントおよび討論	木村 健二(下関市立大学経済学部国際商学科教授)
5	〈論文〉「尊厳」概念から見直した日本軍「慰安婦」問題 —「証言」と高齢者介護問題の観点から—	坂本 知壽子(韓国・延世大学大学院社会学科博士課程)
6	〈論文〉植民地台湾における技芸教育の実態と変遷 —台北第三高等女学校を例として—	滝澤 佳奈枝(台湾・淡江大学日本研究所修士課程修了)
7	〈海外紹介〉1 ソウルの第9回世界女性学大会に参加して	米澤 洋子(本学大学院文学研究科歴史学・文化財学専攻博士後期課程)
8	〈海外紹介〉2 大英博物館「KABUKI HEROES on the Osaka stage,1780-1830」 (大坂歌舞伎のヒーローたち)展をめぐって	林 久美子(本学文学部日本語日本文学教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第13号(2004年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 「男女共生」の歴史と現在 I 日本における高等教育の変遷と男女共学の理念	田端 泰子(本学学長/文学部歴史学科教授)
2	II 座談会「女子大学から共学へ」	渡部 藤(本学文化政策学部文化政策学科教授) 他3名
3	女性歴史文化研究所国際シンポジウム「アジアにおける良妻賢母主義」 I 韓国における賢妻良母の歴史的役割と現在	洪 良姫(韓国・漢陽大学校人文学部科学学講師)
4	II 日本における良妻賢母主義の盛衰	ひろた まさき(本学文学部歴史学科教授/女性歴史文化研究所所長)
5	III 近代中国における賢妻良母主義 —その歴史と現在—	程 郁(中国・上海師範大学人文学院助教授)
6	IV コメントおよび討論	姫岡 とし子(立命館大学国際関係学部教授)
7	女性歴史文化研究所公開研究会 I 女性解放、フェミニズム、ジェンダー研究 —女性研究と近代中国—	桑 兵(中国・中山大學歴史系教授)
8	II 懐胎・出産取締りにみるく産む>身体の位相 —近世末・陸奥国一関藩の場合—	沢山 美果子(順正短期大学幼児教育科教授)
9	〈書評〉1 井野瀬久美恵著『植民地経験のゆくえ —アリス・グリーン・のサロンと世紀転換期の大英帝国』	宮崎 章(本学文学部歴史学科非常勤講師)
10	〈書評〉2 辻由美著『火の女シャトレ公爵夫人 18世紀フランス、稀代の科学者の生涯』	志賀 亮一(本学文化政策学部文化政策学科教授)
11	〈書評〉3 袖井孝子著『少子化社会の家族と福祉 —女性と高齢者の視点から—』	吉原 千賀(奈良女子大学生活環境学部人間環境学科助手)
12	〈書評〉4 L・バンクロフト/J・G・シルバーマン著/幾島幸子訳 『DVIにさらされる子どもたち —加害者としての親が家族機能に及ぼす影響—』	神崎 光子(本学文学部英語コミュニケーション学科講師)
13	〈書評〉5 M・L・LeCompte, Cowgirls of the Rodeo: Pioneer Professional Athletes.	リー・トンブソン(早稲田大学スポーツ科学部スポーツ文化学科教授)
14	〈書評〉 J.Burbick, Rodeo Queens and the American Dream.	
15	〈海外紹介〉1 上海の国際シンポジウムに参加して	小野 和子(本学名誉教授)
16	〈海外紹介〉2 第4回フランス東洋陶磁器学会参加記	弓場 紀知(本学文学部文化財学科教授)
17	〈海外紹介〉3 二つの六十周年 —パリ解放とフランス女性参政権—	服部 春彦(本学文学部歴史学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第12号(2003年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 異文化経験と女性 I アリス・ペーコンと『日本の女性』—異文化体験としての「日本女性」—	藪田 貫(関西大学文学部教授)
2	II 女性歴史文化研究所第12回シンポジウム「異文化体験と女性」開催記録1 基調講演「大英帝国のレディたち」	井野瀬 久美恵(甲南大学文学部教授)
3	III 女性歴史文化研究所第12回シンポジウム「異文化体験と女性」開催記録2 基調講演「日本『帝国』の主婦たち」	ひろた まさき(本学歴史学科教授)
4	IV 〈史料紹介〉アデル M. フィールドと19世紀中国の女性	蒲 豊彦(本学歴史学科教授)

5	〈投稿論文〉View toward Menstruation in Japan in the Meiji and Taisho Eras - Based on Fujin Eisei Zasshi (Women's Health Journal) -	田中 ひかる(横浜国立大学大学院 環境情報学府博士課程後期在籍)
---	--	-------------------------------------

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第11号(2002年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 戦争と女性 I 「戦国社会と女性の役割」 京都橘女子大学開学35周年記念女性歴史文化研究所開設10周年記念シンポジウム記録	
2	II 「大坂冬・夏の陣」に収斂する淀殿の役割	田端 泰子(本学歴史学科教授)
3	III 近代日本の戦争と女性	ひろた まさき(本学歴史学科教授)
4	Women Communicating Electronically: War of Words	Blake E. Hayes(平安女学院大学短期大学部 英語コミュニケーション学科講師) Salem K. Hicks(本学外国語教育研究センター講師)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第10号(2001年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	特集 変貌する家族像 近世女性奉公人にとつての婚姻と出産 —陸奥国安積郡下守屋村人別改帳の数量分析—	落合 恵美子(国際日本文化研究センター助教授)
2	幕末から明治初期における妻の氏と夫婦財産制についての考察	植木 壽子(本学歴史学科教授)
3	旗袍、纏足、入れ墨(下) —近代の中国人は女性の身体と服飾をどう見たか—	羅 蘇文(上海社会科学院歴史研究所研究員)
4	「北野社宮仕沙汰承仕家文書」内短冊群について	大城 紅美子(本学歴史学科卒業生)
5	春日局に見る乳母役割の変質	田端 泰子(本学歴史学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第9号(2000年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	世紀転換期イギリスの労働者女性運動にみるフェミニズム —女性協同組合ギルドと母性支援要求—	松浦 京子(本学歴史学科教授)
2	旗袍、纏足、入れ墨 —近代の中国人は女性の身体と服飾をどう見たか—	羅 蘇文(上海社会科学院歴史研究所研究員、 女性歴史文化研究所客員研究員)
3	女性とエゴイズム —D.H.Lawrence, "The Blue Moccasins" 試論—	井上 径子(本学・同志社女子大学他非常勤講師)
4	外国人留学生から見た日本のメディアの中のジェンダー	岡本 宜子(テュービンゲン大学同志社日本語センター日本語講師)
5	『天正狂言本』の中世的様相と女性ジェンダー	田端 泰子(本学歴史学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第8号(1999年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	『チャタレー夫人の恋人』を「性と愛の教科書」として読む(Ⅱ)	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
2	英日翻訳と女性の文体 —W.B.Yeats, "Crazy Jane Talks with the Bishop" の翻訳を例に—	塩田 栄子(龍谷大学大学院博士後期課程)
3	経元善と中国女学堂	小野 和子(本学歴史学科教授)
4	大阪の改良演劇にみるフェミニズム	林 久美子(本学国文学科助教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第7号(1998年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	1920年代広州の婢女解放と風俗改革	蒲 豊彦(本学国文学科助教授)
2	中国の改革開放と村の女性たち —『中国婦女』の記事から—	久富木 幸子(龍谷大学非常勤講師)
3	英語における性とことば —「丁寧さ」と女性ことばを中心に—	北林 利治(本学英語英文学科教授)
4	『チャタレー夫人の恋人』を「性と愛の教科書」として読む(Ⅰ)	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)

5	女性歴史文化研究所第2プロジェクト「現代社会と女性」 女子大学生の意識調査結果(1998年度) —「男らしさ」「女らしさ」「結婚」「仕事」「家族」について—	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
6	芥川龍之介「おぎん」私読 —主人公・おぎんをめぐる—	萬田 務(本学国文学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第6号(1997年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	自意識と「運命」—T. E. ロレンス論(2)—	浅井 雅志(本学英語英文学科教授)
2	フランスにおける女性史の諸傾向	ミシェル・ペロー(パリ第七大学名誉教授)
3	セクシャル・ハラスメントの法的責任	植木 壽子(本学歴史学科教授)
4	アメリカにおけるセクシャルハラスメントと「合理的平均女性」基準の再考	中本 明子(近畿大学非常勤講師)
5	中世後期文化の様相 —山科家の日記にみる「花」—	小林 善帆(滋賀文化短期大学非常勤講師)
6	近松秋江関係史料二篇 —前沢キエ「蒼茫如夢」、徳田道子「白鳥氏と父秋江」—	中尾 務(本学国文学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第5号(1996年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	日本的雇用・能力主義・フェミニズム	碓井 敏正(本学歴史学科教授)
2	裏切られた肉体—T. E. ロレンス論(1)—	浅井 雅志(本学英語英文学科教授)
3	How "Ceremonial" was Edo Period Noh? A Reassessment of Shikigaku	Eric C. Rath(女性歴史文化研究所研究員)
4	芥川龍之介「偷盗」側面—女たちのもうひとつの物語—	萬田 務(本学国文学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第4号(1995年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	現代英国女性劇作家点描	平田 康(本学英語英文学科教授)
2	贈答慣行とパラオの女性たち —「シュウカン」への理解に向けて—	安井 眞奈美(大阪大学大学院博士課程)
3	女性歴史文化研究所第2プロジェクト「現代社会と女性」 女子大学生の意識調査結果 —「男らしさ」「女らしさ」「結婚」「女性と仕事」「親と子」について—	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
4	芥川龍之介「地獄変」ノート —良秀の娘をめぐる—	萬田 務(本学国文学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第3号(1994年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	王朝物語における女房の造型 —『夜の寝覚』における「対の君」の呼称—	鈴木 紀子(本学国文学科教授)
2	イギリス小説の中の女たち —イギリス小説の抬頭と女性差別の時代—	杉山 泰(本学英語英文学科教授)
3	文学にあらわれた妊娠中絶問題[Ⅱ] —「家族の名において」ギロチンを「主婦マリーがしたこと」の世界—	鎌田 明子(本学英語英文学科教授)
4	現代中国の女性誘拐事件	蒲 豊彦(本学国文学科助教授)
5	女性文化と女性史 — <i>L'histoire des femmes en Occident</i> 翻訳ノート—	志賀 亮一(本学英語英文学科教授)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 第2号(1993年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	中世の女性と軍役 —合戦の場、軍役と女性の地位—	田端 泰子(女性歴史文化研究所所長/ 本学歴史学科教授)
2	女子学生の性別役割意識の分析 —役割志向性尺度を使って—	高橋 雅延(本学一般教養課程助教授)

3	文学にあらわれた妊娠中絶問題〔Ⅰ〕 —墮胎手術は「神の業」か「悪魔の業」か・『サイダーハウス・ルール』の世界—	鎌田 明子(本学一般教養課程教授)
4	延方普門院の船越地蔵と忍性	細川 涼一(本学歴史学科助教授)
5	女性研究の方法としてのオーラルヒストリー	山田 真規子(女性史研究者)

京都橘女子大学 女性歴史文化研究所紀要 創刊号(1992年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	創刊にあたって	田端 泰子(女性歴史文化研究所所長/ 本学歴史学科教授)
2	女性歴史文化研究所開設記念シンポジウム「女性史の新時代をめざして —女性史研究の現状と課題」記録集 パネリストによる発言(1)「北条政子と宗教」	マーティン・コルカット(プリンストン大学東洋学部、 歴史学部教授)
3	パネリストによる発言(2)「産業革命のなかの女工」	パトリシア・ツルミ(ヴィクトリア大学歴史学部教授)
4	パネリストによる発言(3)「中世の家と女性」	脇田 晴子(大阪外国語大学教授)
5	ディスカッション	マーティン・コルカット／パトリシア・ツルミ/ 脇田／田端
6	プロフィール	
7	英文翻訳	